



小泉公乃 Masanori KOIZUMI

准教授 Associate Professor

博士 (図書館・情報学) Ph.D.

Keywords: 公共経営, 図書館政策, 図書館経営, 経営戦略, 経営組織, 情報専門職

Contact: koizumi@slis.tsukuba.ac.jp

Web: <http://koizumi-labs.org/>



筑波大学
University of Tsukuba

Graduate
School of
Library,
Information and
Media Studies

研究概要

知識と情報の時代である現代においては、図書館の社会的意義がさらに重要になってきています。私の研究室では、図書館あるいは類縁機関が知識と情報のサービスをどのように市民に対して提供するのか、またそれらを通し地域社会における課題をどのように解決し、価値を創造していくのかについて、(1) 政府 (政策レベル), (2) 図書館 (経営レベル), (3) 市民 (利用者レベル) の 3 つのレベルを切り口にマネジメントあるいはガバナンスという観点から研究を進めています。

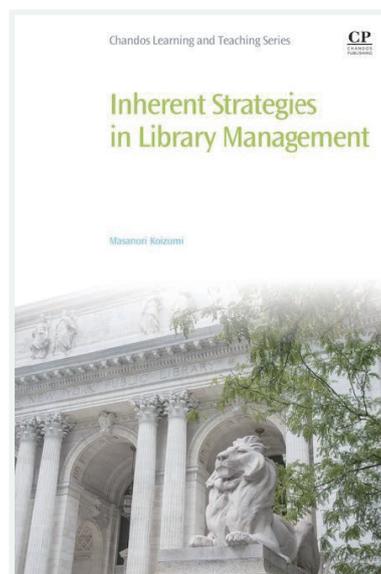
政策レベルでは、図書館の政策・制度と図書館を介した地域のガバナンスが主要な研究のテーマです。経営レベルでは、図書館に固有の経営戦略や組織をどのように構築し、マネジメントしていくかが主要な研究テーマです。市民レベルでは、図書館がどのように革新的で質の高いサービスを創造し市民に提供するか为主要な研究テーマです。さらに、調査のフィールドは、日本はもちろんのこと、アメリカやヨーロッパ諸国にまで及んでいます。

www.slis.tsukuba.ac.jp

図書館・公共経営研究室

▶ 研究領域

- 公共経営
- 図書館経営
- 図書館サービス
- 情報専門職
- 経営戦略
- 経営組織
- パブリックガバナンス
- 公共圏と公共図書館



Koizumi, Masanori. *Inherent Strategies in Library Management*. Oxford; Elsevier: Chandos Publishing, 2017, 234 p., ISBN: 9780081012772.

論文

1) Masanori Koizumi. *Inherent Strategies in Library Management*. Oxford; Elsevier: Chandos Publishing, 2017, 234p. 2) Masanori Koizumi., Michael M. Widdersheim. *Specialties and Strategies in Academic Libraries: A Cluster Analysis Approach*. *Library Management*, 2018 (Forthcoming). 3) Michael M. Widdersheim, Masanori Koizumi. *A communication system approach to the problem of public library legitimacy*. *Library & Information Science Research*, 2017, vol. 39, no. 1, p. 23-33. 4) Masanori Koizumi, Michael M. Widdersheim. *Surpassing the business model: a public sphere approach to public library management*. *Library Review*, 2016, vol. 65, no.6/7, p.404-419. 5) Michael M. Widdersheim, Masanori Koizumi. *Conceptual Modelling of the Public Sphere in Public Libraries*. *Journal of Documentation*, 2016, vol.72, no.3, p.591-610. 6) Masanori Koizumi. *Transitions in Public Library Management: From the International Perspective of Strategy, Organizational Structure, and Operations*. *Journal of Library Administration*, 2014, vol. 54, no. 8. p. 659-690.

社会貢献活動

図書館情報学は実学であることから研究活動のみにとどまらず、実際の図書館経営の現場を重視し、自治体における「図書館のあり方検討委員」や「図書館の評価委員」などを務めています。また、民間企業との共同研究などもおこなうことで、これまで蓄積してきた研究成果を社会において実践的に役立てています。そのほかにも、筑波大学が文部科学省の委託事業としておこなっている「新任図書館長研修」の講師なども務めることで、研究成果を社会に広く還元しています。

メッセージ

現代は知識と情報の時代であり、図書館はまさに知識と情報を万人に提供するための社会的基盤です。この基盤は国際的にも広がっています。図書館が扱う資料も紙から電子にまで広がり、図書館員の専門性も高度化が求められています。高度な研究支援から地域社会における情報格差の是正まで、図書館は知識と情報というフィールドにおいて皆さんの知的好奇心を刺激し続けてくれることでしょう。皆さんと一緒に知識と情報という視点から社会をみていくことを楽しみにしています。

関連情報サイト

- 1) <http://jslis.jp/> 2) www.mslls.jp/ 3) <http://aom.org/> 4) <https://www.istr.org/default.aspx>
 5) www.informationr.net/ir/reviews/revs606.html 6) <http://koizumi-labs.org/blog/>